

島原お**得**情報 それとも**損**？

2011年12月議会冒頭
平成21年度決算に対する

反対討論

2011/11/29 (火) 12月議会冒頭

決算認定に反対の立場で反省点を指摘いたします。具体例を示しながら3点指摘します。

先ず1点目、事業を実施したり予算を執行したりするとき市民の立場に立たず、国や県あるいは他の自治体の顔色を見たり、なるべく仕事を楽に済ませようとする安易さがないかと、問いかけます。

他自治体から島原市に転入の手続きの不手際から、子ども手当が数ヶ月、その子は生存しているにも拘らず、支給されなかったわけです。確かにこれは転出もとの自治体が先ず十分な説明責任を果たしていなかったのが一番悪いのですが、ご承知のとおり、住所の確定は転入先の島原市に決定権があります。ここは住所確定時に、転出元自治体に訂正を申し入れ、市民を救うべきだったと考えます。

子ども手当が支給されていなかった期間も住民税はしっかり徴収している。「子ども手当は法律がきちんと整備されていなくて、申請主義なので切れ目が出来ることもあるのです。」と平気である。税金徴収は切れ目なく追いかけているのだから、国県の不作為と戦って欲しいと思います。

2点目、緊急雇用対策の名目で支出された各種事業の費用効果は疑問なものが多かったと考えます。失業者に一定期間生活費を手渡す効果はあったかもしれませんが、その労働は、それなりの費用対効果が求められると思います。

例えば、九州新幹線開通に伴って、熊本からの観光客を呼び込む目的のバス運行。シャトルライナーシーガル。観光ガイドの車掌まで配置したバスに平均乗車率2.8人。

この事業は23年度も継続していますから、見直しも含めて指摘するのですが、この乗車率はその後、1.1人にまで落ち込みます。請け負った業者は乗車率を上げるために、島原か

わくわく**熊本日帰りプラン**

島原港～熊本駅
往復バス

+

島原港～熊本港
往復フェリー料金

+

熊本市電・市バス
1日乗り放題乗車券

お一人**1800円**

予約お問い合わせ
0957-65-4044

ら熊本までの日帰り格安プランを売り出しました。(上記)

私は委託契約書を見せてもらいましたが、島原の消費者を熊本に連れて行って海の向こうでお金を使わせる事を容認する内容にあきれ返りました。外貨を稼ぐはずの観光が、全く逆ではないでしょうか。島原の商店街の人が聞いたら怒りますよ。

3点目、これは予算の時から指摘していましたが、緑の羽根の募金は県民税として徴収されるようになった環境税と重複するものであって、『日本公園緑地協会』とか『国土緑化推進機構』など国の天下り団体に上納金を納めるだけのものだから見直すよう指摘していましたが、なされていない。

『長崎新聞懇話会』も、ほとんど出席できないのだから、お付き合い会費もバカにならないし、せめて市長部局と議会部局で二口入っているのを一つに絞ってはいかがかと求めているが、検討された形跡もない。

既に役目を果たし意味を成さない色々な去年どおりの支出、中央では事業仕分けの名目で検討がなされました。結果廃止や見直しは出来なかったものも多いですが、検討だけはなされました。島原はどうでしょう、そのそぶりも見えませんでした。

以上3点、予算執行は先ずは**市民のために**、そして**島原市にとって利益**になるように、徹底的な**無駄遣いの洗い直し**をとお願ひして、反対の討論とします。3月に示される予算に反映されることを期待します。